

令和6（2024）年度

事業計画書

令和6（2024）年3月

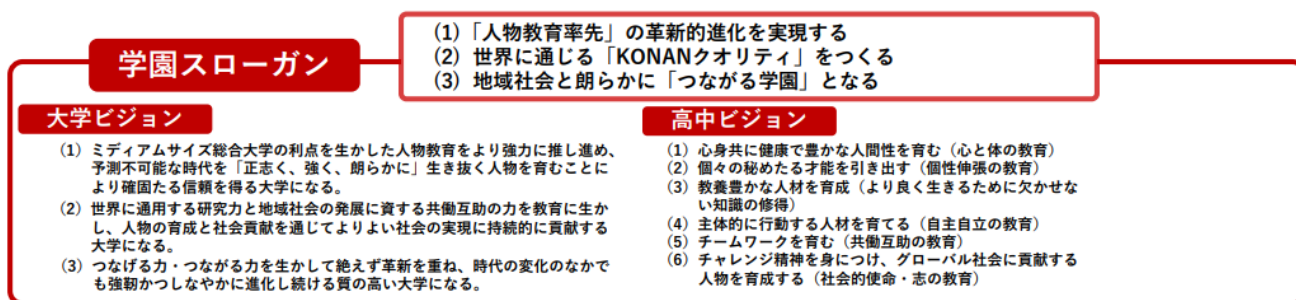


## 1. はじめに

長く続いたコロナ禍を抜け、各教育機関では全面的に対面授業を実施するなどコロナ以前の生活に戻りつつある一方で、地球温暖化問題の深刻化、国際紛争の激化、国内での大規模災害の発生、生成系 AI の台頭、少子高齢化の進行など私学を取り巻く社会・経済環境は変化し続けており、私学の運営は難しさを増している。文部科学省は令和 6（2024）年 4 月から大学進学希望者数が大学入学定員総数を下回る、いわゆる大学全入時代に突入すると試算しており、大学淘汰の時代への備えを加速していく必要がある。高等学校・中学校においても、少子化の影響から統廃合や共学化が進み、大阪府における高等学校授業料無償化など各行政施策の影響にも考慮した対策が必要になっている。一方で、社会からの教育機関への期待・要請は明確になってきており、私学助成においては、国が要請する諸問題・分野への人材育成を推進する事案に対し傾斜配分する傾向を強めている。例えば私立大学等改革総合支援事業の基本スキームにおいては、「『Society 5.0』の実現」「地域社会への貢献」「研究開発・社会実装の推進」などが重要視されている。また、デジタル・グリーン等の成長分野を担う理系人材の育成に意欲ある大学・高専を対象とした基金が設けられた。リスキリングやリカレント教育に対する期待も高まっており、これまで以上に社会が期待する教育機関の果たす役割は非常に大きい。

令和 6（2024）年度は、本学中期計画の 5 年目にあたり、目標達成に近づく年度となる。引き続き、教職協働で学園スローガン実現のため、情報化・広報などの機能別に戦略を策定し取組みを進める。また、大学においては「KONAN U. VISION 2025」達成に向けて取組み、高等学校・中学校においては「中期行動計画」の推進をはかり、すべての職員が「KONAN クオリティ・プラスプロジェクト」など部局を超えた多岐にわたるプロジェクトやタスクフォースを進める。

令和 6（2024）年度も取り組むべき具体的な事案は多岐に渡り、諸計画の中には学園財政に大きな影響を与える幾つかの事業も想定されている。健全な学園財政を堅持し、学生・生徒から預かる貴重な学費を有効に活用することを意識したうえで、既存の事業については絶えざる予算の見直しを行い、新規事業については実施可能で、かつ費用対効果を最大限発揮しうる積極的な予算を編成する必要がある。予算とは、人・モノ・金等の経営資源の出入りを会計数値で予定したステートメント、つまり実行計画の貨幣的表現である。学園中期計画を含む諸計画と連動し、効果的かつ最大限の成果が発揮できる予算となるよう、これまで以上に選択と集中・メリハリをつけて予算編成を行い、揺るがず輝く“いい学園”を目指し、各事業を進めていく。



## 2. 予算編成にあたってのガイドライン

- (1) 予算は中期計画の中での位置付けを意識し、PDCA サイクルを念頭に事業計画を策定し、計画に相応しく最大限効果を発揮しうよう、スクラップ&ビルドの意識を持って検討した内容で申請し、予算措置する。申請に際しては必要性や有用性の観点を持ち、過年度の予算額と執行額との差額を点検したうえで、関連部課室と連携・調整することを求める。なお事業計画は半期毎に進捗状況を確認したうえで予算を補正し、進捗を後押しする。
- (2) ST 比の改善を視野に入れた学費改定の趣旨を踏まえ、人物教育率先・教育力の甲南を推進する。十分に練られた事業計画を実現するための直接的な教育プログラムに対しては積極的に予算措置するが、コスト意識も持ち、様々な方策を検討した上で予算申請・編成する。
- (3) 事業活動収支予算は本ガイドラインに留意し、教育の質向上等の将来投資につなげるために経常収支差額の均衡を目指し、事業活動支出の割合は同収入の 99.0%を堅守する。
- (4) 収入の中で大きな比率を占める学生生徒等納付金は新入生の在籍目標者数を堅持する。また事業計画を実施する中で獲得しうる補助金は可能な限り申請し、予算編成する。
- (5) 一人あたりの単価が設定されている費目は、教員や学生の人数変動を考慮して予算措置する。他方、それら以外の経常的な経費は令和 5 (2023) 年度予算額を上回らない金額で編成、支出の見直しにより捻出した財源は新規プロジェクトに充当する。
- (6) 学園中期計画を推進する上で必要な組織横断の重要な機能に対して、改善すべき全体課題を洗い出し、全体最適をはかるための方策（機能別横串戦略）に必要な予算を措置する。情報化戦略については、情報システム基盤グランドデザインに基づく経費や、財務・会計システムの更改経費を措置する。キャンパス・グランドデザインについては、10 号館改修経費を措置する。また 15、16 号館の建替検討など理工学部「環境・エネルギー工学科（仮称）」開設に向けた投資は、「大学・高専機能強化支援事業」の補助金収入を活用する。加えて、新たに「大学都市神戸産官学プラットフォーム」活動などを含む社会連携戦略策定に向けた動きも支援する。そして中期計画推進を統括する経営企画室については、その活動により効果や収入が見込まれることを踏まえ、活動経費を措置する。
- (7) 第 2 次「KONAN プレミア・プロジェクト」は、「ジェネリックスキル測定による学生の成長と学修成果の可視化プロジェクト」などすでに経常的施策となっているものについては経常経費化し、それ以外の新規・継続案件については事業内容・実施状況と教育効果を十分に検証した上で申請を受付け、予算化する。事業経費・基盤整備にかかる支出を含めて 130 百万円程度とし、引当特定資産を活用する。
- (8) 令和 6 (2024) 年度から新たに開始される 3 つの甲南新世紀戦略研究プロジェクト「非ワトソン-クリックワールドの核酸化学の確立と国際核酸化学研究拠点の形成」（先端生命工学研究所）、「カーボンニュートラルに貢献するエネルギー変換材料の開発研究」（エネルギー変換材料研究所）、「未利用熱マネジメントに向けた革新的熱電変換ナノ材料の開発」（ナノ材料工学研究所）について、計 150 百万円を上限として措置する。
- (9) 資産運用収入（受取利息・配当金収入）は、理事長及び学長並びに校長より提案を受けた「21 世紀に輝く学園」、すなわち、「優秀な学生への支援」、「学園の戦略広報・スポーツ強化支援」、「大学院生への支援」及び「国際的に卓越した研究推進」に重点配分する。また財源確保に努めつつも、安全で低リスクの資産運用を継続する。
- (10) 「KONAN-DX サブプロジェクト」、「KONAN クオリティ・プラスプロジェクト」等は学内会議で十分に審議されたことを前提とし、クオリティの担保とコストとのバランスに目を配り、上記(3)に留意の上で積極的に予算措置する。実施に際しては引当特定資産を活用する。
- (11) 人件費及び委託業務費は、引き続きカリキュラムの見直し・生産性向上に努める業務改善等を反映し、金額及び必要性・実効性を精査・査定し、その効力を高めることに努め、前年度並みの金額で総額管理する。

### 3. 施設・設備への資金配分

人物教育を推進する場としてのキャンパスは本学に欠かせない重要資産であり、施設・設備への資金配分は少人数教育の推進・学生相互の人間形成の上で重要な役割を果たすとの視点から、快適に教育活動・キャンパスライフが送れるように配慮する。また専門的な見地も活用し、全学的な観点での施設・情報化のグランドデザインを描き、既存施設・構築物の安全性を点検・適切な範囲での対応を継続し、遵法の観点・精神をもって予算編成する。

- (1) キャンパス・グランドデザインに基づく修繕・保全計画、インフラの整備に取り組む。
- (2) 学生・生徒・教職員の安心・安全を優先した施設改修、カーボンニュートラルに向かう省エネルギー等の工事は、コストに留意しつつ、緊急度・優先度・耐用年数も考慮して平準化を図り、予算化する。また気候変動や大規模災害への対策等についてもその必要性を計り、教育研究活動に支障をきたさぬ点に注意し、予算編成する。
- (3) 教育・研究充実のための施設・機器及び図書の更新・購入等は従来通りの姿勢を堅持するが、電子書籍での執行など、DXを考慮に入れた予算申請・編成を行う。

### 4. 事業計画及び予算編成にあたっての基本認識

#### (1) 経営環境の認識

##### ① 私立学校をとりまく経営状況の変化

日本私立学校振興・共済事業団の「入学志願動向調査」及び「今日の私学財政」によると、令和5（2023）年度に「入学定員未充足」となった私立学校は、大学が53.3%（600校中320校）であり昨年度より6ポイント上昇し、引き続き定員割れの学校が増加傾向にある。高等学校の「入学定員未充足」は、15歳人口は前年度より0.2%増加したが、志願者数は0.8%、受験者数は1.0%それぞれ減少したため、69.2%（1,293校中895校）となり、前年度より0.7ポイント上昇した。

##### ② 経常費補助金は「私立学校の特色強化・改革の加速化」に対する支援へ

2023年の18歳人口は109.7万人であるが、2023年の出生数は75万8631人となり8年連続の減少になった。急速な少子化の進行は、私立大学における教育研究上あるいは経営上の努力・工夫によって乗り越えることが困難なほどの経営環境の悪化をもたらしかねない深刻な状況である。このような状況下において、国内大学生数の約8割の教育を担い、地域社会の維持に不可欠な専門人材の輩出や、高等教育の多様性・機会均等を支えている私立大学について、文部科学省は再構築が必要であるという認識のもと、令和6（2024）年度～令和10（2028）年度（5年間）を「集中改革期間」と位置づけている。すなわち、「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」として、少子化を乗り越えるレジリエントな私学への構造転換を図るため、日本の未来を支える人材育成を担う新たな私立大学のあり方を提起し、将来を見据えたチャレンジや経営判断を自ら行う「経営改革計画」の実現を図るとともに、その知見やノウハウの普及・展開を図る取組について、継続的に支援するとした。また、引き続き「私立大学等改革総合支援事業」として、①未来を支える人材を育む特色ある教育研究の推進や②高度研究を実現する体制・環境の構築、③地域社会への貢献、④社会課題を解決する研究開発・社会実装の推進など、自らの特色・強みや役割の明確化・伸長に向けた改革に全学的・組織的に取り組む大学等を重点的に支援するとした。

文部科学省としては、教育の質に係る客観的指標を通じたメリハリある資金配分による教育の質向上を促進する政策を継続する。つまり、教育改革・研究高度化に取り組むだけでなく、より教育・研究等の特色を強化し改革を加速化する私立学校への「補助金の選択・集中による配分」がより顕著なものとなり、経常費補助金の獲得は従来にも増して更に競争的な意味合いが強くなるものと予想される。

## (2) 本学園の経営状況確認

### ① 大学および高等学校・中学校の入試志願者数について

大学における令和6(2024)年度的一般入試(前期・中期・後期日程)志願者数は延べ18,520人と、令和5(2023)年度から約11.1%増となった。また、公募制推薦入学試験においては、令和6(2024)年度から面接を課さない受験方式を新設するなど入試制度を変更した結果、志願者数が4,227人(前年度比181.8%)となった。

高等学校・中学校入試においては、令和6(2024)年度の中学1年生から「アドバンスト・コース」を「メインストリーム・コース」に改編。これに伴う広報の効果もあって、中学入試における延べ志願者数は、前年度763名から884名(甲南小学校からの志願者22名は除く)となり、前年比115.9%増となった。高校入試は、専願制として約25名を募集、23名の志願があった。

### ② 私学助成の取得状況について

令和5(2023)年度の私立大学等改革総合支援事業では、4項目中1項目(タイプ3)が選定された。(前年度は2項目選定)また、令和4(2022)年度の私立大学等経常費補助金額は、約8.54億円(583校中70位)であり、うち教育改革や研究高度化に資する取組みに対して上乗せされる特別補助金額は、約1.42億円(583校中32位)となっており、経年においては補助金額が漸減しているものの相対的に高い水準を維持している。

### ③ 科学研究費の採択状況および外部資金の取得状況について

日本学術振興会より有望な研究計画に付与される令和5(2023)年度科学研究費の採択状況は、81件・約2.11億円(継続を含む研究代表者分のみ)であり、過年度から採択件数、研究費額は減少したが、継続して高い水準を維持している。

また、研究活動の実用化指標となる産業界等からの受託研究、共同研究、奨学寄附金等の外部資金による研究助成額(約2.9億円)も過年度と比較して増加傾向となっている。

### ④ 大学の就職状況、高校の大学進学実績について

令和4(2022)年度の大学卒業生の就職率(内定者/就職希望者)は、全国平均97.3%を上回る98.7%(前年比0.5%増)であり、過年度から継続して高い水準を維持している。実就職率(就職者数/(卒業生数-大学院進学者数))は、90.1%(前年度0.6%減)となった。

高等学校の大学進学実績は、令和4(2022)年度卒業生において、甲南大学の進学者数は、83名であった。その他、国公立大学に28名(うち医歯薬獣医系学科に2名進学)、慶應・上智6名をはじめとする本学以外の私立大学に65名(うち医歯薬獣医系学科に5名進学)、海外の大学に2名が進学している。

## 5. 令和6(2024)年度当初予算の要点

### (1) 事業活動収支の概要について

#### ① 基本金組入前収支差額

予算編成方針において経常収支差額の均衡を目指しており、約1%の基本金組入前収支差額(約1.5億円)を目指しているが、収入合計約151.9億円に対して支出合計約151.5億円(基本金組入前収支差額約0.4億円)となり、目標としている支出額を約1.2億円超過する予算で編成する。情報化投資、キャンパス修繕などによる支出増であるが、収支差額約1%を目指し、期中での支出節減に努める必要がある。

#### ② 各設置校の財政的自立

大学及び本部約0.1億円、高等学校・中学校約0.3億円の収支差額を見込む。

### (2) 資金収支の概要について

預り金等の調整勘定を除いた経常資金の動きを次表の資金収支計算書に掲げている。また特定資産への繰入れ・取崩しを表す資産運用支出・その他の収入において、繰入れが上回っており、特定資産の増加も見込んでいる。

(3) 資金収入の概要について

① 学生・生徒等納付金収入

前年度補正予算額約 112.5 億円に対して約 3.1 億円程度の増額を見込んでいる。部門別の内訳では、大学においては学費改定や人数増加による増額を、高等学校・中学校でも同様の理由から増額を見込んでいる。

なお大学入学者数の予測は年々難しくなっており、前年度も前々年度に引き続き在籍目標者数を上回る学部が発生した。入学者の精緻な確保施策と退学者抑制諸施策を継続し、最適規模での教育を実施するとともに、引き続き確実な収入確保を目指さなければならない。

② 補助金収入

前年度補正予算額に対して約 0.1 億円増加し、約 19.9 億円の見込みである。教育改善や研究高度化などの取組みが評価される私立大学改革総合支援事業や特別補助関係事業、更には施設設備補助金等への積極的な申請を継続する。

(4) 資金支出の概要について

① 人件費支出

前年度補正予算額 76.8 億円に対して約 0.6 億円増加し、約 77.4 億円の見込みである。大学本務教員は退職者数が採用者数を上回ることや法科大学院みなし専任教員の廃止などにより約 0.3 億円の減、本務職員数は増加しないものの、私学共済掛金の増や嘱託職員数の増により約 0.6 億円の増、兼務職員は外部資金等研究員の採用等で約 0.2 億円を増額計上する。高等学校・中学校本務教員の増は、退職金の増加によるものである。

② 教育研究・管理経費支出、施設・設備関係支出

全体としては、前年度補正予算額約 65.4 億円から約 6.4 億円増加し、約 71.7 億円を見込んでいる。特に、大学の施設関係支出が岡本キャンパス 10 号館改修やインフラ整備計画設計・施工費などで約 3.3 億円の増、設備関係支出は情報システムグランドデザインや理工学部施設設備費などにより約 1.1 億円の増加を見込んでいる。一方、高等学校・中学校は講堂の改修工事が完了したことなどにより約 1.0 億円の減少となっている。

## 6. 令和 6 (2024) 年度予算概要

(1) 資金収支計算 (経常的資金の動き)

(百万円)

科目	R6 当初予算	R5 補正予算	差額	備考	
収入の部	学納金収入	11,562	11,251	311	学費改定・人数増加
	手数料収入	627	529	98	受験者増を見込む
	補助金収入	1,986	1,972	14	・一般補助は圧縮率低下による減、省エネ化など施設関係補助金の増 ・修学支援制度 546 百万円を含む(同額を奨学費で支出)
	その他	3,846	3,621	225	・特定資産からの繰入収入を含み、預り金を含まず、経過項目を除く ・受取利息配当金は安全、確実な運用を行う
資金収入の部合計	18,021	17,373	648		

(百万円)

科目	R6 当初予算	R5 補正予算	差額	備考	
支出の部	人件費支出	7,742	7,682	60	・外部資金等研究員の増 ・所定福利費増
	教育研究、管理、施設・設備関係支出	7,170	6,535	635	・主に施設関係支出の増加
	その他	2,753	2,810	▲57	・特定資産からの繰入支出を含み、預り金を含まず、経過項目を除く
	資金支出の部合計	17,665	17,027	638	
資金収入超過額	356	346	10		

## (2) 事業活動収支計算(経常収支及び特別収支) (百万円)

科目	R6 当初予算	R5 補正予算	差額	備考
事業活動収入計	15,193	14,836	357	・約0.4億円収支差額プラスを計上
事業活動支出計	15,156	14,821	335	
基本金組入前 収支差額	37	15	22	

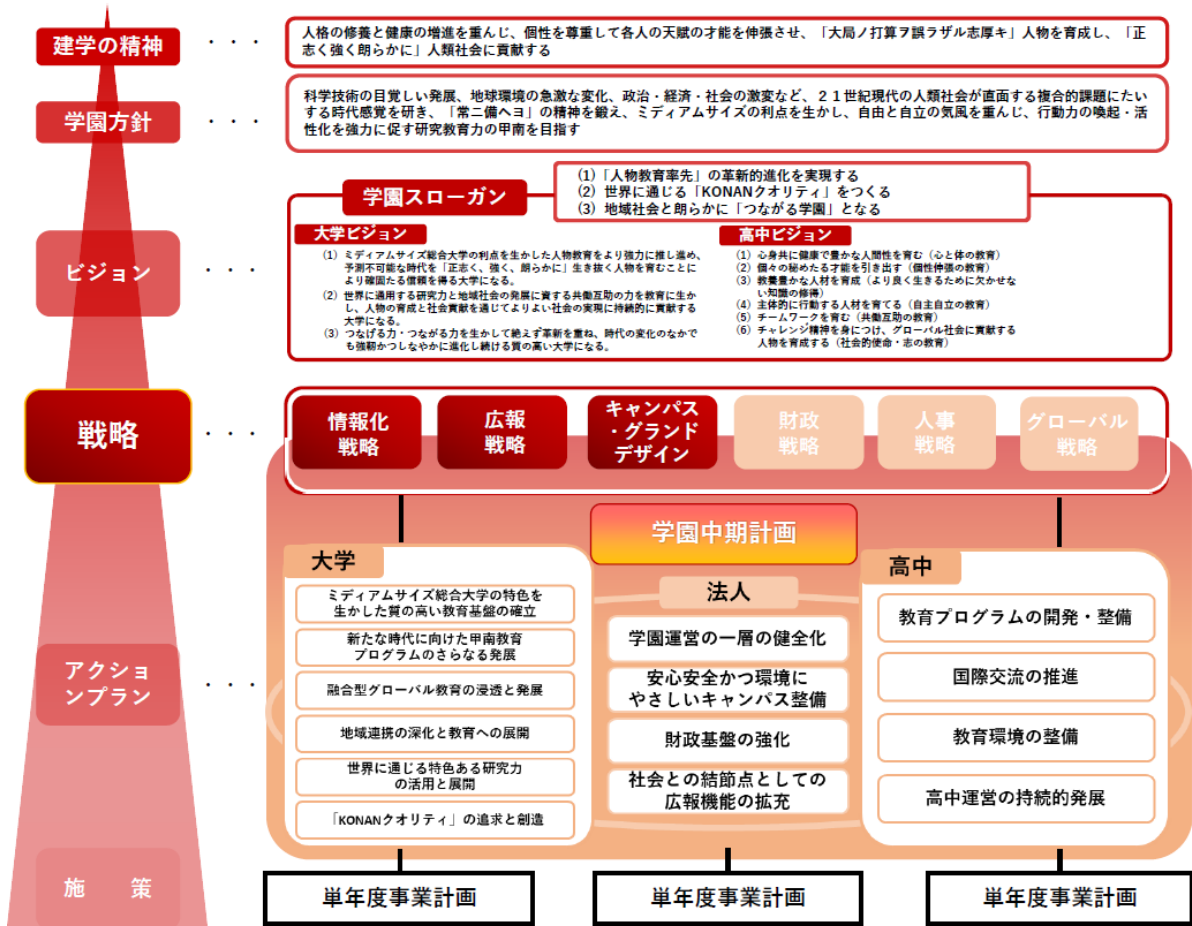
## 7. 甲南新世紀戦略研究プロジェクト(第I期)

最先端で甲南らしい特色ある研究からイノベーション創出など社会の発展に大きく寄与する取組み、及び地域に根差し、その課題解決をリードしていく甲南らしい特色ある研究から地域の経済・社会・雇用・文化などの発展・深化に大きく寄与する取組みに助成を行い、本学の研究力の向上及び教育への浸み出しを目的とした「甲南新世紀戦略研究プロジェクト(第I期)」を令和6(2024)年度から開始する。令和5(2023)年度に助成対象研究プロジェクトを審査し、以下のように決定した。

- (1) 「非ワトソン-クリックワールドの核酸化学の確立と国際核酸化学研究拠点の形成」  
先端生命工学研究所(FIBER)
- (2) 「カーボンニュートラルに貢献するエネルギー変換材料の開発研究」  
エネルギー変換材料研究所(ENERGY)
- (3) 「未利用熱マネジメントに向けた革新的熱電変換ナノ材料の開発」  
ナノ材料工学研究所(GREEN)

## 8. 機能別横串戦略

学園中期計画を推進するにあたり、「サイロ化」、「レガシー化」を防ぎ、全体最適をはかりつつ本学園の進化を実現するため、令和3（2021）年度から令和4（2022）年度にかけて「機能別横串戦略」の策定に取り組み（「情報化戦略」、「広報戦略」、「キャンパス・グランドデザイン」、「人事戦略」、「財政戦略」、「グローバル戦略」）、随時戦略に基づく施策等を稼働させている。令和6（2024）年度は6つの機能別横串戦略を推進すると共に7つめとして「社会連携推進」を担う機能別横串戦略会議の設置検討を行い、次期学園中期計画を見据えた体制構築を進める。



## 9. 大学の主な取組み

甲南教育の新たな世紀を迎えるのを機に、人物教育率先の理念のもと、教育の質の一段の向上をめざした「甲南新世紀ビジョン」を定め、全学を挙げてその実現に取り組んでいる。

令和3（2021）年度から、「KONAN U. VISION2025」を定め、同ビジョンにもとづく6つの教学新機軸に沿った取組みを「KONAN プレミア・プロジェクト」を中心に実施している。

令和6（2024）年度は、文部科学省が定める学部等連携課程制度を活用した「グローバル教養学位プログラム“STAGE”（英語名称：Special Track for Accelerated Global Educationの略称）」を開設。グローバルキャリアを志す学生を対象とした一学年定員25名のプログラムとなっており、複数の言語圏への「ダブル留学」を中心に、4年間で異文化に対する理解や国際社会、地域社会、双方における課題解決に必要なグローバル教養を身につけ、グローバル人材として世界基準で考え、社会の第一線で活躍できる人物を育成する。

また、政府の戦略・方針として掲げられているデジタル・グリーンを中心とした成長分野をけん引する



人材育成のため理系学部・研究科の特色や研究力を生かした「進化型理系学部・研究科」の具体案を検討・提案するタスクフォースを立ち上げた。並行して、文部科学省が成長分野への学部転換等の改革を行う大学・高専が予見可能性をもって取り組めるよう、「大学・高専機能強化支援事業」を創設したことを受け、これに申請、採択され、令和8(2026)年度の理工学部の学科再編および新学科設置に向けた検討を進めている。

リカレント教育では令和6(2024)年度から「グローバルリテラシー教育プログラム」を新設。国際対話能力を涵養することを目的とし、英語ネイティブ教員による指導を行う。主に、就労中の社会人の方を対象としているため、土曜日のみの通学とし、平日に働きながらでも受講可能なプログラムを展開する。

学生募集では、受験生が「受けやすい」と感じられる入学試験制度とする入学試験改革に向けた議論が進んでいる。また、これまでアドミッションセンターが単独で企画・運営していたオープンキャンパスについて、部局間連携による実施方針の策定や、新しいイベントの提案など来場者の満足度、進学希望の向上を目指し、新たに企画・運営体制を整備した。

神戸市の産官学共創による「優秀な人材の獲得」「人材育成と定着」「地域社会への貢献」を目的とした一般社団法人 大学都市神戸産官学プラットフォーム(以下、神戸PF)の設立に参画。神戸PFは、神戸市や市内の10大学、企業などで構成されプロジェクトを通じて地域活性化を推進する。本学がリーダーを担うプロジェクトも進行しており、神戸市と本学のレピュテーション向上につなげる。

### (教学新機軸に関する令和6(2024)年度の主な取組み)

【機軸Ⅰ】特色ある教育基盤の確立		
①学生の確かな成長につながる教育活動の 体系的な充実・発展		
ジェネリックスキル測定による学生の成長と学修成果の可視化プロジェクト		学長室
教科別指導体制と教員採用試験対策の充実		教職教育センター
My KONANクラスプロフィールの機能改善		教務部
公共人材養成プロジェクトの推進(公務員試験対策講座)	KONANプレミアムプロジェクト	法学部
ニューノーマルな時代に対応する甲南教育学習DXプロジェクト	KONANプレミアムプロジェクト	全学教育推進機構
②入学から卒業までの学生の成長を支える 連携体制と環境の充実		
図書館主導による学術情報、教育研究資料の体系的な収集と整備		図書館
環境変化に応じたキャリア支援体制の強化		キャリアセンター
体育施設管理・運営の改善		全学教育推進機構
学生による学習支援(ラーニング・サポート)の展開		全学教育推進機構
KONANキャリアデザイン支援プロジェクト	KONANプレミアムプロジェクト	キャリアセンター
③学修者本位の教学マネジメントの徹底		
IRレポートシステムを活用した教学マネジメントの確立プロジェクト	KONANプレミアムプロジェクト	学長室
内部質保証システムの充実やビジョンの実現に資するIR活動の発展		全学教育推進機構
卒業生の声を教育に生かす「甲南大学教学アドバイザー・ボード」		学長室
教育を活性化する「経済学部ベストレクチャー」プロジェクト	KONANプレミアムプロジェクト	経済学部
第4期認証評価に向けた内部質保証システムの機能強化		学長室

【機軸Ⅱ】甲南教育プログラムの発展		
<b>①専門教育の質の向上・特色化と 一体的な共通教育の整備・充実</b>		
サイエンス・ラーニングコモンズを核とした能動的学修の推進プロジェクト	KONANプレミアプロジェクト	理工学部
日商簿記検定合格を目指す会計リテラシー・プログレス・プロジェクト	KONANプレミアプロジェクト	経営学部
活躍する卒業生の経験を新入生に伝えるプロジェクト	KONANプレミアプロジェクト	全学教育推進機構
ビジネス・リーダーを養成する「長期インターンシップ」推進プロジェクト	KONANプレミアプロジェクト	経営学部
入学前スクーリングの推進による円滑な高大接続の推進		全学教育推進機構
彩り豊かな教育プログラム実践プロジェクト	KONANプレミアプロジェクト	全学教育推進機構
<b>②予測不可能な時代に向けた新たな教育への挑戦</b>		
「プロジェクトゼミ」社会実装型の研究課題に取り組むプロジェクト	KONANプレミアプロジェクト	経済学部
学院生が学部生をサポートする「サイエンス・ライティングサポーター」プロジェクト	KONANプレミアプロジェクト	自然科学研究科
異文化環境下での学生の心理面の自己ケア力・異文化理解力の促進		学生相談室
新時代のWeb活用授業による教育の質向上プロジェクト		フロンティアサイエンス学部
キャリア創生共通科目の拡充と発信		全学教育推進機構
<b>③リカレント教育の推進と世代を超えた学びの場の創出</b>		
ソーシャルビジネス・アントレプレナー育成プログラムの展開		社会連携機構
スチューデントリーダーを中心とした学びの改善 We Love Studyプロジェクト	KONANプレミアプロジェクト	フロンティアサイエンス学部
首都圏における「就活生」と「卒業生」の結節点としての有機的ネットワークの構築		ネットワークキャンパス東京事務所
大学院充実化タスクフォースと連携した研究コース・社会人コースの活性化の検討		経済学部
税理コースのより積極的な広報活動の展開		経済学部
【機軸Ⅲ】融合型グローバル教育の発展		
<b>①融合型グローバル教育の特色を發揮した各種取組みの充実・魅力化</b>		
グローバル教養学位プログラム“STAGE”設置によるグローバル教育の発展		グローバル教養学環
社会で生きるグローバル・コミュニケーション実践プロジェクト	KONANプレミアプロジェクト	経営学部
段階別国際力養成プログラムによる”FITなリニューカウト(留学活動)”支援プロジェクト	KONANプレミアプロジェクト	国際交流センター
留学のための英語集中コース		全学教育推進機構
外国人留学生(学部正規生)サポートプロジェクト	KONANプレミアプロジェクト	全学教育推進機構
<b>②キャンパスのグローバル化</b>		
SDGsに貢献するグローバル人材育成プロジェクト	KONANプレミアプロジェクト	国際交流センター
Short-term Programsの受入による学内での国際交流の活性化		国際交流センター
大学入学年齢層・留学生に対する、首都圏における本学の広報強化		ネットワークキャンパス東京事務所
<b>③グローバル教育推進体制の充実・強化</b>		
グローバル教育の推進		マネジメント創造学部
紀要『言語と文化』・『ゼフィール・にしかぜ』の編集・発行		全学教育推進機構
言語教授法・カリキュラム開発研究会の実施		全学教育推進機構
多様な教育(コーディネーター／国際交流)の実践		フロンティアサイエンス学部
学部教育体制と連携したグローバル教育体制の検討		経済学部

【機軸Ⅳ】地域連携の深化		
①「人物教育」の一環としての地域連携教育の充実		
多分野の力を集結して「えん罪救済」に取り組むプロジェクト	KONANプレミアムプロジェクト	社会連携機構
灘の酒を発信！硯水プロジェクト	KONANプレミアムプロジェクト	フロンティアサイエンス学部
地域で学び、社会と繋がる連携プロジェクト	KONANプレミアムプロジェクト	社会連携機構
企業・地方自治体と連携した事業の充実		キャリアセンター
地域連携強化と実践型教育の促進		マネジメント創造学部
②幅広い世代を対象とした地域連携・社会貢献活動の展開		
Beyond5G寄附講座の展開		社会連携機構
関西湾岸SDGsチャレンジプロジェクト	KONANプレミアムプロジェクト	学長室
文学部の学びを革新する ぶんたすプロジェクト	KONANプレミアムプロジェクト	文学部
新たな時代に向けた甲南リカレント教育プログラムのさらなる展開		社会連携機構
神戸の7大学による魅力発信プロジェクト	KONANプレミアムプロジェクト	社会連携機構
③地域連携センターの組織体制の強化		
組織体制の整備と情報発信の強化		社会連携機構
【機軸Ⅴ】世界に通じる研究力の展開		
①世界に通じる特色ある研究力の積極的な教育への反映		
KONAN AIロボット学びプロジェクト	KONANプレミアムプロジェクト	知能情報学部
学部と大学院のシームレスな接続、学生への国内・国際学会参加の拡充、長期国際交流		理工学部
EXPO'70アート・ドキュメンタリー映画製作プロジェクト	KONANプレミアムプロジェクト	人間科学研究所
研究力向上に向けた博士課程支援プロジェクト	KONANプレミアムプロジェクト	自然科学研究科
「子ども・子育て」研究と「ライフプラン教育」の推進	KONANプレミアムプロジェクト	人間科学研究所
②研究力の可視化と産学連携の推進		
甲南大学出版会からの刊行		フロンティア研究推進機構
研究成果の発信		法学部
研究所紀要、ニュースレターの発行、ホームページ、SNS等による情報発信		人間科学研究所
査読論文投稿、研究発表等研究活動の推進		経済学部
③研究推進体制の充実・強化と適正な管理運営		
研究遂行のための人員体制の見直し		先端生命工学研究所
研究推進のための環境整備		フロンティア研究推進機構
研究インテグリティ確保のための体制整備		フロンティア研究推進機構
【機軸Ⅵ】KONANクオリティの追求		
①ブランディング戦略の策定と実践		
学生募集広報における入試制度、彩り教育、進化型理系学部構想の発信		アドミッションセンター
KONANスポーツ応援プロジェクト	KONANプレミアムプロジェクト	学生支援機構
人物教育を可視化するブランドストーリーの確立		学長室
②高大接続活動の発展と情報発信・コミュニケーションの強化		
大学の特色・魅力発信プロジェクト	KONANプレミアムプロジェクト	アドミッションセンター
高校生の探究活動と甲南大生の研究活動を活性化する 甲南リサーチフェスタプロジェクト	KONANプレミアムプロジェクト	アドミッションセンター
SNSでつながるMAKプロジェクト	KONANプレミアムプロジェクト	アドミッションセンター
高大連携の推進		フロンティアサイエンス学部
知能情報学部における入試広報戦略について(動画・パンフレット刷新)		知能情報学部
③「常に備えよ」の教えを生かした体制づくりの推進		
平生スピリットの実践と発信プロジェクト		フロンティアサイエンス学部

## 10. 高等学校・中学校の主な取組み

令和6(2024)年度から社会で必要とされる基礎力「ジェネリックスキル」を身につけた社会で活躍できる人材の育成を目的として「アドバンスト・コース」を「メインストリーム・コース」に改編した。「メインストリーム・コース」では甲南大学との連携を強化し、時代に即したスキルを身につけ、多様な進路選択につなげる。

その他、高等学校・中学校の中期行動計画に基づき、令和6(2024)年度は以下に記載の事業に取り組む。

<b>教育環境の整備</b>
アクティブラーニングとAV・ICT環境の整備
多様な進路に対応するeポートフォリオシステムの構築
<b>教育プログラムの開発整備</b>
カリキュラムの再構築
教育研究部による徳育教育、情操教育の開発
学習遅進者に対する学習支援プログラムの整備と学力の定着
図書館・情報科による情報活用能力の定着
OBの協力を得たキャリア教育の推進
体育プログラムの開発
学校行事の内容点検および整理・開発
<b>高中運営の持続的発展</b>
教務部・教育研究部・進路指導部によるカリキュラム整備と学力の定着
コース制の発展・充実および生徒数確保のための入試改革の実施
校務分掌の改編による教員組織の活性化
<b>国際交流の推進</b>
海外の高校・中学との姉妹校締結と海外交流プログラムの整備・拡充
海外大学との交流

## 1 1. 法人の主な取組み

学園中期計画(2020-2025)を実質化するための中期行動計画に基づき、令和6(2024)年度は、以下に記載した事業に取組む。

学園運営の一層の健全化	
<b>①学園教育機能充実のためのガバナンス体制の点検・整備</b>	
インフラ整備計画策定サブタスクフォース	管財部
甲南学園横串戦略「グローバル戦略」の推進	経営企画室
人物教育率先の一環としての課外活動の健全化と活性化	学生支援機構
修学支援制度の運用・整備に応じた学園内奨学金制度の再編	学生支援機構
大学設置基準改正等に伴うガバナンス強化	学長室
<b>②高等教育機関としての研究機能向上と社会・地域への貢献</b>	
教職員・学生に対する、NC東京の利用促進	ネットワークキャンパス東京事務所
<b>③リスクマネジメント体制の強化</b>	
情報セキュリティインシデント対策の継続	情報システム室
高等学校中学校のネットワーク機器のリモート監視の実施	情報システム室
実験等にかかるコンプライアンス遵守の徹底	放射線委員会
安否確認サービスの導入及び運用開始(大規模災害発生時等の緊急時連絡体制の整備)	総務部総務課
実験等にかかるコンプライアンス遵守の徹底	遺伝子組換え実験安全管理委員会
<b>④強靱な組織体制の構築と整備</b>	
学内ネットワークスイッチの更改、キャンパス間回線の集約	情報システム室
対外接続回線機器の更改	情報システム室
クラウドシステム利用にあたっての認証基盤の検討	情報システム室
職員における完全週休二日制導入の検討	総務部人事課
学費納付の利便性向上	財務部
財政基盤の強化	
<b>①健全な財務体質の維持・向上</b>	
学内PDCAサイクルの統合・最適化	経営企画室
甲南学園横串戦略「財政戦略」の策定	経営企画室
減価償却累計額の30%以上の再投資資金の積立に向けた管理	財務部
<b>②学納金収入以外の財源多様化の推進</b>	
「卒業生等との関係維持」と「母校への関心向上」を目的としたKONAN未来サポーターズの定着	つながる学園推進室
教育振興募金の活性化策を検討・実施	つながる学園推進室
安全かつ最適な学園ポートフォリオの確認と再構築	財務部
社会との結節点としての広報機能の拡充	
卒業生・同窓会組織との連携	つながる学園推進室
甲南四法人連携広報	広報部
芸術活動・スポーツ協賛などを通じた地域創生への参画	広報部
広報戦略による広報施策	広報部
KONAN PLANETの拡充と推進	広報部
安心安全かつ環境にやさしいキャンパス整備	
10号館改修計画策定サブタスクフォース	管財部
15号館新築計画策定サブタスクフォース	管財部
トイレ改修工事(第3期)	管財部

## 12. 学園中期計画推進のためのCFT(クロスファンクショナルチーム)活動

学園中期計画を推進するCFT(クロスファンクショナルチーム)は、令和3(2021)年度に24チーム、令和4(2022)年度に47チーム、令和5(2023)年度に46チームが活動を進めてきた。以下に特筆すべきプロジェクトについて記載する。

(1) 中高大接続検討小委員会(2021.1~継続)

高大接続活動(授業・イベント)において高校生が大学のゼミや授業を見学するキャンパスツアーを実施した。また「KONAN未来サポーターズ募金」を活用し、中学校の入学説明会を大学で開催し、中高大一貫教育をアピールした。

(2) 研究費執行業務効率化タスクフォース(2020.12~継続)

研究費執行業務の現状分析(業務フローや工数の見える化など)を踏まえ、令和5(2023)年度から物品調達フローを改訂。また、不正防止・効率化実現の観点から令和6(2024)年度からのコーポレートカード導入を引き続き検討中。

(3) 「KONANクオリティ・プラス」プロジェクト(2021.4~継続)

学生本意の教育、親身な学生生活支援、明るく活気あるキャンパス等、さらに質の高い、学生にとって魅力的な大学にするために、すべての職員組織(部署)がそれぞれ定めた目標にもとづき、各種の取組み(学内掲示の充実、窓口対応の質向上等)を展開する。

職員が組織横断チームを結成し、学生支援のクオリティを向上させるアイデアを提案・実施する「チャレンジ・サブプロジェクト」(通称:cプロジェクト)では、既存プロジェクトの推進支援、新規プロジェクトの立ち上げ支援および顕彰制度の導入を通じて、cプロジェクト全体の活性化を図る。

既存業務の効率化・付加価値創造業務の時間確保を目指す「業務改善サブプロジェクト」(通称:iプロジェクト)では、職員1人1人が令和4(2022)年度に各自設定した個人テーマに取り組むとともに、学園共通の課題(学園共通テーマ)については、タスクフォース、プロジェクト等を通じてその推進にあたる。

(4) 『平生鈇三郎日記(普及版)』(仮題)出版タスクフォース(2023.6~継続)

『平生フィロソフィー-平生鈇三郎の生涯と信念-』を制作後、創作者 平生鈇三郎の日記を読みやすいかたちに編集し、出版に向けて取り組んでいる。

(5) 甲南学園情報化戦略会議(2021.12~継続)

自然災害または人為的災害後の重要な技術インフラ、システム復旧(ディザスタ・リカバリ)を迅速に行えるよう、作業部会を設置し「ディザスタ・リカバリ計画」の策定に取り組んでいる。

(6) 甲南学園広報戦略会議(2022.6~継続)

甲南学園広報戦略会議の下にある広報推進委員会・広報作業部会において学園、大学、高等学校・中学校の広報についての情報共有・調整を引き続き行う。学校法人甲南学園甲南小学校、学校法人甲南女子学園、公益財団法人甲南会、本学園の四法人(以下、甲南四法人)で取り組んでいる「甲南四法人連携広報」は、イラストレーターのおたせせいぞう氏に各法人のイラストを描いていただき、令和5(2023)年度から順次広報展開を行っている。



[阪急 西宮北口駅 電飾看板]

### 1.3. 学園中期計画ダッシュボード

学園中期計画の進捗・成果については、学園中期計画に関する重要な指標をまとめた「学園中期計画ダッシュボード」で継続的に確認しPDCA サイクルを回している。令和5（2023）年10月からは、学内の各種データの収集・集計を行いグラフとして可視化する「KONAN IR Tool」において「学園中期計画ダッシュボード」が自動生成、閲覧可能となった。

甲南学園中期計画(2020～2025) ダッシュボード(KGI,KPI)



KGI	突志願者数	授業満足度	総合満足度(卒業時)	科研費採択率	進路満足度	QOL度	キャンパスカ (学生の施設満足度)
	入学者数	退学率(4年間)	学生生活の充実度	教員1人あたり 科研費採択額	実就職率	キャリアパス満足度	財務力(積立率)
	甲南高校からの 内部進学率	ジェネリックスキル 測定結果 (3年次の平均レベル、 1-3年平均伸び率)	KONAN サーティフィケート 参加者数	博士・修士輩出数	【高中】国公立大学 および私立大学 医歯薬学部合格者数 (延べ数)	就職満足度	組織力(職員満足度)
	【高中】1期午前志願者数	【高中】授業満足度	海外留学生数 (短期・中長期)				連携力 (自治体等との連携・ 協定数)
KPI	偏差値(学部別)	ST比	教職員による指導・ サポートへの満足度	教員1人あたり 著書・論文数	大阪府・兵庫県内 企業への就職率	「KONAN-PLANET」 登録者数	事業活動収支差額比率
	実質倍率	共通教育への満足度	就職や進学に関する 支援・相談への満足度	国際共著論文数	有名企業400社就職率 ※週刊東洋経済より	奨学金延納率	経常収支差額比率
	延べ志願者数	グローバル教育への 満足度	図書館利用者数	大学院定員充足率	社長輩出数	卒業生の記事掲載件数	教育研究経費比率
	【大学・高中】 入学者における 第1志望者の割合	【高中】学校行事満足度	【大学・高中】 課外活動参加率	受託研究件数	進路把握率	人間関係の充実度	人件費+業務委託費比率
	【高中】1期午前実質倍率	【高中】留年・転学・ 退学者数	【高中】近畿大会・ 全国大会出場クラブ数	大学発ベンチャーの件数	【高中】海外大学合格者数 および関東難関私立大学 合格者数	生活面での満足度	教育振興募金件数・金額

以上